

2019年度 岡崎小学校 スクールプラン(学校運営計画書)

別紙1-2

校長名 岩本浩志 作成日 2019年 5月 8日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 学力の定着・向上
- 友だちと仲良く過ごせる学校
- 規範意識の向上
- 保護者・地域との連携を深める

【学校教育目標】

強いからだと豊かな心を養い、自ら課題を求め、よりよく生きようとする子どもの育成

【めざす児童像】

- ・豊かな心 (思いやりのある子)
- ・考える力 (かんがえる子)
- ・実践する姿 (さきに行動する子)
- ・強い心とからだ (きたえる子)

前年度の学校評価

- 授業改善を通じて、学力の向上を図ってもらいたい。
- 縦割り活動を活用して心の育成を図ることはよい。
- 基礎学力の定着について、さらに系統的に取り組む必要がある。

児童の実態

- 素直な態度で行動できる。
- 下級生を思いやる気持ちが育っている。
- 学力の定着に課題がみられる。
- 自分で考え、行動する力に課題がある。

重点目標	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
◎知識及び技能の習得 ◎子どもを主体とした、授業づくり ◎思考力・判断力・表現力の育成 ◎基本的生活習慣の定着	◎道徳教育を柱とした教育活動の充実 ◎人権意識を高め、自他共に大切にする教育の実践 ◎縦割り活動等、仲間づくりの実践	◎基本的生活習慣の定着 ◎体力向上の推進 ◎安全教育の推進	◎家庭・地域との連携を深める ◎地域人材の活用	
◎「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を授業に生かす。 ◎学習タイムや放課後フォローアップ、読書タイムを活用して、基礎学力の定着を図る。 ◎校内研究授業を行い、授業力向上を図る。 ◎「家庭学習の手引き」を配布し、保護者と協力しながら学力の定着を図る。	◎「特別の教科道徳」の研究授業を行う。特に、子ども達がしっかり考え、話し合う活動を大切にする。 ◎縦割りグループを積極的に活用し、仲間づくりに繋げていく。 ◎授業での学びを実生活と結びつけていけるよう、指導方法の工夫を行う。	◎和歌山県チャレンジランキングの活用 ◎「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さについて、お便りや懇談を通じて啓発を行う。 ◎避難訓練や交通安全教室などを行い、危機回避能力を高める。	◎学校便りやホームページを活用して、学校の情報(教育活動、学校行事、不審者情報等)を公開していく。 ◎地域ボランティアやゲストティーチャー、図書ボランティア等の人材や、地域の産業や文化を含め、積極的に活用する。	
◎全国学力・学習状況調査、県学習到達度調査で、特に「書く」領域での平均値を目指す。 ◎宿題の提出率、90%以上を目指す。	◎道徳の授業が「楽しい」「よくわかる」児童90%以上を目指す。 ◎縦割りでの活動を、昨年度より増やす。	◎毎日朝ごはんを食べてくる児童95%以上を目指す。 ◎体力テストの平均値、全国平均を目指す。	◎保護者へのアンケートで、「教育活動や子どもの様子を分かりやすく知らせている」について80%以上を目指す。 ◎ゲストティーチャー等、多くの方々に学校に来ていただけるよう働きかける。	

◎：特に重点的に取り組むこと